

事業所名

博愛こども発達支援センター あそびのお城

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

8日

法人（事業所）理念		法人理念：2歳から100歳まで あたたく質の高い「在宅医療」と「社会参加への支援」の確立 子育て理念：親と子、人と子、子と子が「遊び込む」ことで、無限の可能性を秘めた敏感な子たちの「社会」に溶け込む力、「人の嵐」に耐える力を育て、のびのびと「生来の才能」を伸ばします。						
支援方針		「遊び込み療法の理論と実践」、「5つの構造化支援(人・音・時間・空間・言葉)」、「自由の構造化支援(構造化された枠組みの中で自由に遊ぶ)」に基づき、実践をします。 また、小集団・異年齢集団により、馴染む力のあるこどものコミュニケーション力の向上と社会性の獲得を目指します。 遊び込み療法の四大効果：①ことば(発語)、②愛着と共感の育成、③コミュニケーション能力の向上、④社会性の獲得により、人としての基盤を築く取り組みを行います。						
営業時間		9時	0分	15時	0分	まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	生活：1日の日課をルーティン化することで、子ども達が変化変更が少なく、見通しを持って生活することができるよう配慮していきます。 健康：常勤で看護師を配置し、日々の健康管理をはじめ、協力医療機関である博愛病院の医師、看護師と連携をすることで、健康の維持・増進を図ります。 当園では、こどものストレングス(強み、興味・関心、才能)を発見し、最大限に活用することで生活の質を高める支援をしていきます。						
	運動・感覚	室内：大ホールでドッチボールなどのボール遊び、バランスボール、ダンスなど身体能力の育成に努めている。 屋外：自然林の園庭で、山登り、砂場遊び、かけっこ、ジャングルジム、鉄棒、ブランコなどで身体能力の育成や発達性運動協調障害(DCD)に対応した活動を取り入れている。						
	認知・行動	認知：毎日、語彙あそびをすることで、聴覚、視覚の発達を促すことで、語彙力や認知力の向上を図ります。 行動：こどもの意志を最大限に尊重し、構造化された中で、自由に遊べるよう支援していきます。 また、危機管理に対するために、災害時の対応の仕方、不審者対応、避難訓練等の防災対策をします。						
	言語 コミュニケーション	小集団、異年齢集団の中で、子ども同士の学び合いを重視したグループ構成を行います。 言語発達やコミュニケーション力向上のために、語彙あそびや読み聞かせを毎日ルーティン化しています。						
	人間関係 社会性	異年齢集団の中で活動することにより、思いやりや優しさを育むことができ、また、子ども目線で様々なことを学ぶことができる環境を設定します。 ボランティアや専門職を目指す学生等と触れ合う機会が多く提供することで、世代を越えた人間関係の構築をめざします。						
家族支援		連絡帳や電話、面談で家族の困り事や相談などに対応しています。 年に5回程度、ペア・カフェを開催し、家族間、職員との交流や意見交換などを行っています。				移行支援		小学校、支援学校等と密な連携をしていきます。スムーズな移行に向けて必要に応じて学校等に情報提供書を作成し、家族の了承の元、提供を行います。
地域支援・地域連携		夏祭りや、運動会を通して、地域住民との交流の機会を設けています。 おでかけイングリッシュや読み聞かせ教室、手品などのボランティアの方と交流を図っていきます。				職員の質の向上		発達障がいの特性の理解や遊び込み療法、構造化支援などについての勉強会を定期的で開催しています。また、法人内外の研修会にも積極的に参加しています。
主な行事等		4月：花見 5月：お見知り遠足 6月：バスハイク 7月：七夕 8月：夏祭り 10月：ハロウィン 11月：運動会 12月：クリスマス会 1月：年始会 2月：節分 3月：卒園式 ※下線は家族参加行事、他に年に5回程度 ペア・カフェを開催 家族参加の行事では、毎回アンケート調査を実施し、家族の意見や要望を聞き、行事の充実に努めていきます。						